



百友和祕抄

7 3

6228



以和秘抄

7.3
6228

3-4-23
第

百官和秘抄



去五味均平蔵



百官といふ天子ふたりの内外乃徳長ありき
とて百乃貞教ありて何れも百々教ありき
義ありて内東と百教とを百官座とて
持てありて延天曆の已に賢也とて
友位ありてこれより後に重代とて
その外に徳也とて海もこれより代乃政乃
陵達乃人あり賢とてこれより後とて
とてとす

神祇官

行政を分りて一々を辨る爲め又改とせし
らるゝと云ふ國家と稱するに免中らるゝ
の行政ありて其れを銘明天皇の時を重
きなり行政せしむは其れを一と天子の
とて天子にしむゝと天子の政と成敗と
れば天子ひひとて其れを國白と云ふ
は其れを一人に國白と云ふは霍光
の政と宣帝に如くの時を人となりて
万機と國白と云ふは其れを始と國白
と云ふは其れを一人に國白と云ふは

清和天皇、とけのりて位ははく文德の遺詔
と傳へて御祖忠云行政は是人臣の行政
なりて執持ありて一應の宣旨と云ふは
一人とも一一人とも一一人とも

大綱言十人

天子の唯^{かうせい}古^い乃^の官ありて中を上下し上の
りて下へのりて職也又君のりて作也
と云ふは其れを令條ありて

中綱言十人

河内守大綱を母ありて又何と人なり大綱

同事也中納言乃中納言一人也執持乃
外也云々上つと云々大内乃納言と見たり

参議 八人

折家と久しと参議と経歴一に酒乃法範等
に経歴中位直母之位乃中納言中納言
大中納言乃右障乃时参議等事なり
二参議参議行事と見たり上卿也陣乃
度めく物と云々右筆と云々
何也乃事也参議中位執持も折家名家乃人
みなり也 平政大内乃御宇参議やめて五畿

七通乃觀察使と云々觀察使と云々
善善也と云々
弘に御宇に觀察使と云々参議と云々

女納言 三人

詔勅宣下と云々
者も誰と云々
人いふと云々
後女納言と云々

外記

恒例臨時乃事除目叙位と云々奉り

七辨

左右大弁 左右中弁 左右女弁 權弁 中女弁 同に五

陣乃右筆の奉りしも是も名家の儒家殊に
執事管轄乃仁車にていざくさし也控衛も職
と及ハカリのさ也野々々也官中のみんも

史人

左右大史 各二人 一史と官勢といふ

太政官乃文書といふくされと云ふ樞要の官といふ
戸のくろく扇乃あやとりと云ふ官といふあり
左右女史 各二人 小槻一旗門役等何と云ふ也

史生廿人 右九

安倍氏紀氏小槻乃長者に子カシラ老と云ふ
官掌四人 太政官のさめと云ふと云ふ史生官
掌少浅重鐵あり

中勢者

は有ハ詔勅宣下のりく乃宣旨といふも是
位記るともいふなりと云ふ

卿

親王のさし小何と云ふ下何と云ふ文官といふも常
勤之儀あり
大輔 權雲客諸大夫にいつるや何と云ふ

少輔 推
何より無月大輔より
治教民教を
教ふことと
執といふ者大少輔あか
らうと云ふこと
大少輔 玉
あらうと云ふこと
何と

倚徙

令八令

伯侯、拾遺補闕乃官多ふらして、
執事、大中納言、名、年、教、二、位、と、兼、何、と、大、
臣、も、兼、何、と、例、ある、種、名、家、諸、事、事、と、近、代、
初、官、の、伯、侯、稀、何、事、隨、て、何、事、也、

内金人

九十人はじのま

是童殿上人ありて、昔に民衆とありて皆

けし種小内舍人といふ坂東國へ流し置るべき事
と云々收留せしめて殿上より簡易法にて皆思ふ
人也又下病と内舍人といふ事也傳れ何と云
舍人改略し一々源内平内と号と左右衛門尉
に何と云く時源内平内尉平内高内尉といふ
可唯知

肉記大女

和漢の女学ありとあり也といへば儒家諸君

監物

管鑑かんとありしるあり地下の五位以下侍の意

主鈴

そののほろ

近代あから仕せ

典鑑

かこのほろ

おれ

月さあひさこのま

太皇太后官職

おれさこのま

帝王祖母

皇太后官職

きこのま

帝王母

中官職

帝王妻

帝王妻

己上は成
二官ト云

大夫

権大夫

あはらの所よきうき人何とて執物も家の人

元帥と后より内と管領とも也

亮

権亮

四位の殿上人のあき達も名家も何とて時あは

大進

名家の五位何とて大進

諸大夫五位六位何と

大舍人寮

宿直の事と法とあはる第會の法とて事と

大舍人の役あり

頭四位以下地下の輩醫局後あはる先も何と

助権則本寮と大舍人頭より考とあはる

て何とてこれとあはる寮の奏とて

內藏寮

預 山科森二任正例也

物

諸侯、内裏より酒を賜ふ。勅使ありて御社より
 詣て、宣命を讀也。山城より聖武大明神、高麗
 より地主、高麗よりその國司、衆詣りて、内裏使
 又御幣ありて、高麗より同系、向ふて、高麗

紙殿寮

衣服と裁縫とと作と

願
 地
 下
 乃
 四
 位
 五
 位
 已
 是
 不
 知
 也
 則
 權
 先
 大
 去
 後
 也

陰陽寮

天文六日月星辰乃一曆教五部乃次牙下
そ乃事誠所由なる者也とてふひかん也天文

曆風雲の氣とくく海嶽也天地爰異と奉聞

と乞張密奏といふ

幸徳井 土御門

額張陽返りともかき成安信の御家先乃

者ありふ何れとて他人の御家也といふ者

奉旨重代乃者と名く人々あり

後陽博士

尚返り成り月とく人々仁とく何れ

曆博士

推古天皇十二年甲子正月戊午日始く

曆と月あり

天文博士

密奏宣旨とて爰異と個奏とを由

り宣旨とかりぬ

漏刻博士 漏水のつと守て時と西と嶽あり

内廷寮

頭光も地下乃五位 醫監も返るより何れ也

肥 推 光

六位乃侍何れ

式部省

内介乃官乃事と決るる部無部は爰迄

とて人乃女能と名く何れ也

卿史乃親王光小何れとて法祿乃人臣何れ

也乃事也

大輔推 儒者乃其名なり人乃何ぞと事也
中級云々式部大輔云々何ぞと例なり
女輔 推女輔 推大輔云々何ぞと
大進 比下六位云々何ぞと
何ぞ式部云々民部云々二省乃云々

大学寮

儒道乃ともうなる途て名譽乃有る何ぞと
い寮也先聖先師乃脚影と附て何ぞと
國より之いふされ多る学生を授け文と
海あり

類

四道乃儒士出ず乃ともうなる途て
助推 諸大夫何ぞと先少 六位何ぞと

文章博士

紀傳道乃儒士乃何ぞと也中級云々兼何ぞと

博士明經道乃儒士乃何ぞと大博士云々
助教云々 直云々 誨云々

明經道乃何ぞと何ぞと

音博士 書博士

同道乃丁之乃儒何ぞと也

魚イサ 六位乃侍臣

雅樂寮カ

歌舞乃事と侍る事男女の樂人音聲と
あひひくは寮ありヒ 雅言とありあり
歌諸より醫薬乃ともくくは侍り
明雅地下諸より侍り侍り

玄蕃寮

鴻臚館ヒョウリ乃事恒武帝延暦遷都乃始先東西乃大官に
は侍り弘嵯峨帝にゆふ乃鴻臚館と奉侍て弘
法乃師乃侍り西鴻臚館と終用僧都乃侍り

後七條朱雀乃鴻臚館と乃外ウツイバン蕃と乃黒
乃人とおくあるなり

頭地下乃侍り諸近乃事く乃侍り

明雅カ 六位諸より侍り

諸陵寮ミナトノミヤ

天子乃山陵とつる事むくく天皇乃侍り
御墓と乃侍り也

頭陰陽道乃事くく宿老乃人乃侍り
明雅カ 同くく六位乃侍り

民部省

い省ハ諸國乃事と決りて是也國乃年貢^{福んぐ}と
い有^り沙汰^しけ^り也民^た有^り番帳^{ばんちやう}と日^に由^り國^{くに}
指^さ圖^ず境^がを^りの定^{さだ}め^りと教^し百^{ひやく}卷^{せん}計^{けい}者^{しや}は有^り
傳^{でん}りて日^に由^り國^{くに}乃^の重^{じゆう}き^きめ^りと^り也^{なり}也^{なり}此^{こゝ}に
留^{りう}く^りん^んと^り也^{なり}
卿^{けい}是^{こゝ}に^り氏^し納^なえ^りと^りる^り事^{こと}也^{なり}ひ^ひ
封^{ほう}文^{ぶん}執^{しつ}し^りの官^{くわん}也^{なり}省^{しやう}老^{らう}乃^の納^なえ^りと^り也^{なり}諸^{しよ}國^{こく}乃^の
事^{こと}外^{がい}と決^{けつ}反^{はん}沙^{しゃ}汰^たと^りて^り天下^{てんか}乃^のち^ちる^りに^にい^いふ^ふ
於^おく^り也^{なり}

大輔 殿上乃四位五位地下乃人^{ひと}と^り也^{なり}名家

儒^{にう}通^{とう}乃^の人^{ひと}と^り皆^{みな}是^{こゝ}に^に也^{なり}

權大輔 四位五位名家^{めいけ}執^{しつ}家^けみ^みか^かと^り事^{こと}不^ふ也^{なり}

少輔 ^{權少輔}殿上地下乃五位^ご是^{こゝ}に^に也^{なり}

丞^{じやう}大^{だい}少^{しやう} 六位^{ろくゐ}侍^し也^{なり}

主計寮

諸^{しよ}國^{こく}乃^の年^{ねん}貢^{きやう}雜^ざ物^{ぶつ}と^りて^り人^{ひと}と^り也^{なり}金^{きん}條^{じやう}と^り
み^みと^り也^{なり}

頭^{かみ}地下^{ちか}五位^ご六位^{ろくゐ}是^{こゝ}に^に也^{なり}

助^{すけ} ^{權助}地下^{ちか}乃^の六位^{ろくゐ}是^{こゝ}に^に也^{なり}

允^{いん}大^{だい}少^{しやう} 六位^{ろくゐ}乃^の侍^し也^{なり}

主税寮

頭推助元大女 主計助大女

倉庫諸國の年貢の事と諸の事と大御寮

よおさむる事ともい寮よりかき入河の事

親正官印記諸道の事

若知者

内外乃氏官乃事と諸の事と氏官の事とい有

成敗の事なり 名是武具とい有乃先

け是又城乃の海と事ともい有乃後之

卿

將軍の事と氏に武氣ある事とい有乃氏

友乃事と氏に事なり

大輔 權大輔 女輔 權女輔

名家乃四位五位位なり

皇大女六位諸事と事なり

集人司

外列乃事と事なり

正正人乃親の職あり地事なり

佐佐大佐乃侍なり

刑部省

織部目

錦綾綺羅乃風情とあり侍織也糸とあり金とあり
うろも事と侍とありとあり大省並とありとありとあり

正地下五位乞セリとあり依 六位乃侍也

宮内省

官田御膳様乃事とつとあり

卿 五位名家儒家尼とありとあり

大膳 雅女膳 女膳 雅女膳

名家乃殿上人諸女五位也

五位 六位侍也

大膳職

諸國乃りり乃食物と侍とあり今八朝延乃

礼とありと御食膳とあり皆大膳職乃御侍也

大女

殿上四位五位地下位女とありとあり

亮推亮位女侍とありとあり進女六位侍也

木工寮

本任乃事と侍とあり番通乃管膳とあり今

内裏御飲理御造作とありとあり寮乃御侍也

頭四位五位以下 禁中修理下奉^レ引仁多
所^レ代々人々^レあ^レひてあ^レる也
權頭 是も五位以下^レあ^レる也
官也^レい^レく執事也

助權助六位以下^レあ^レる也
左權左少上權少上^レあ^レる也

大炊寮

備置乃^レ和穀并^レ徳國乃^レ食物^レを^レあ^レる也
後三條院大炊寮乃^レ御^レ福田^レ乃^レ徳國小定^レ也
と^レ禁中乃^レ用^レ脚也^レ近代^レ乃^レ三^レ位家也

法^レ也

頭 四位五位^レあ^レる也

助權助 六位以下^レあ^レる也
大位侍^レ也

主殿寮 頭

禁中殿庭^レ掃^レ除^レ志^レ松^レ柴^レ炭^レ燐^レ等^レ也
と^レつ^レる也
近代^レ主生官
勢^レ也

典藥寮

頭 醫道乃^レ極官也^レと^レ名^レ譽^レ也
助權助 五位六位^レあ^レる也

掃部寮

元少同掌門徒何々醫博士出代五位
女醫博士 權女醫博士 女乃療養
針博士 權針博士 四位五位
侍醫 當道乃志乃々四位五位
權侍醫 前々何々一醫師 六位
陣乃座何々是乃幸乃是乃何々々々
々々々々々々風防乃物々々々々々々々
弱 依道四位五位
明權物地下五位六位

元大女 六位侍何々

正親目 天子何々々々々々々々々々々々
正地下乃五位何々 佑 六位

内膳司

天子乃供御々々奉納々々々々々々々々
々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
別當々々々々大納言乃々々々々々々々
奉納々々々々々々々々々々々々々々々々
正四位五位

奉陪典儀 六位元女あり

造酒司 酒とゆふなり酒殿とゆふ酒臺なり

よりなり也

正諸道四位五位元女は酒麴役と酒
屋よりなりといふなり

糸女司

諸國より戸部省なりといふなり國々より
海へ参りてなりといふなり

正醫陰陽道なりといふなり

依 推依 六位より元女なり

主水司 常のんさんといふ

正諸國乃米室なりといふなり諸國乃米
室と云ふは諸國乃米室なりといふなり

彈正臺

儀事乃非儀と云ふもいふ儀事乃捨断と
いふ事也此代に捨断儀乃廳あり此令
あり事ありい臺首と云ふ所也
尹 三家乃人ともあり也

大弼 女弼

殿上四位五位元女御

八

忠 六位諸大夫侍も何と
元京職

大同乃時系乃事と記彈と云ふ職あり
檢非違使と記彈と云ふ事なり此南殿首の
いふ所なり

太史殿上地下乃四位山主乃此四職乃太史に執
りし所職あり儀事乃極官あり

權亮四位五位元女御

亮 權亮 諸大夫何と進大女 六位何と

東市司東西乃字とつけし市正

正市乃事つゝも 佐權佑 大信下何

右京職 西乃系の事と付るなり

大吏 佐多亮權亮 進士女

左京職 西乃

西市司 西京乃市乃事と付るなり

正依 權佑

東市乃事

東宮

唐より東宮の事と佐官職と付るなり 同西
か、防友、降自とて者文とて官と付るなり

傳。執柄大臣は、何れ東宮を扶佐するに海

つゝ職より、執柄とて、攝政とて、佐官たり

内大臣、兼友あり、規模乃官也

春宮坊

春宮乃御在所なり、名を春宮とて、東乃

方に、かゝる春宮とて、あり

大吏

志る人、大綱を已とて、ある規模乃官也

坊中乃事、大吏乃執權なり

權大吏

中納言上人うねふ何々

亮殿上乃四位あき人うねふ何々

権亮中少将うねふ何々

大進推大進五位うねふ名家うねふ何々

女進推女進五位うねふ何々

主膳監うねふ何々

主殿署うねふ何々

とうねふ何々

主馬署うねふ何々

一うねふ何々

么侍うねふ何々

何々

伊勢齋宮寮

頭四位うねふ何々

後三条院御代うねふ何々

賀茂齋院うねふ何々

賀茂乃母院うねふ何々

長官うねふ何々

修理職

内裏修理造うねふ何々

大夫 權大夫 亮 權亮

大夫四位以上あるもの權亮四位五位殿上人は亮權亮諸事これに任じ四職の右京大夫修理大権あるもの内家より事し即ち是は權亮也

勅解由使 諸國年貢と多し一國百石者惠をたらし 長官三位以上の人皆是小位に近き儒者名譽人なり是なり次官殿上人以下四位五位迄は是なり判官六位侍以下

鑄錢司

むしは錢とわたりあるもの今以て受け是は子細なるなり

長官 次官

判官 主典

防鴨河使

使 廷尉乃依これ使宜有る廷尉は是も左右衛の左衛尉等の權乃依る防鴨河使と兼帯し是なり

施藥院使

使醫道乃四位下位と波道乃重職あり
判官 主典
弁外記別當とある 諸國の藥種あり
和之病人と養ふあり

檢非違使

是と使廳といふ
別當 中納言・左衛門・右衛門といふ職・補
少人・右門左衛門とたつて唐名と大理と
といふ大理といふ人七總といふ人といふ人
かといふ人

佐

左大進權佐といふ人使宣旨といふ人佐
はた海といふ事也職事ありといふ

尉判官といふ人佐といふ人佐尉五位といふ
大尉源義朝・大尉源朝光・大尉源朝光・大尉源朝光
武士といふ人佐

志 昭法道といふ人佐大佐乃時海といふ人
使宣旨といふ人也
府生 奏仕乃友心・府督といふ人佐使宣旨
といふ人あり

藏人所

別當 中乃大長あゝ人 二主あゆ

頭 二人

頭并ト云

中將ト云

殿上と管領とあゝ一人 迎請司一人
ありて逢も名家も附忌用とあゝひひあ

五位藏人 三人

三家の人々名家も重代よりて補せ

六位藏人 四人

名家儒家諸重代より有る補せあり
禁あとき

非藏人

貞教



重代乃諸大吏の中藏人よりあゝあゝ
より昇殿とあゝあゝと非藏人といふ又非藏の
者ともいふ

出納

小舎人

者

出納御食あゝあゝと雜事あゝ使あり

雜色 あゝあゝと諸大吏の子あゝ補
所衆 六位侍あゝあゝかゝれあゆ

瀧口 龜山院御左位乃初より末にわたり

侍乃中より執事なり

諸國大上中下國あり 諸國乃守と受領なり

國司此事あり 南時乃守護人乃事あり

守殿上地下五位より下なり

權守地下乃五位六位より下なり 桑木雲客

かゝる官あり 事あり

外權守地下五位より下なり 殿上人なり 桑木雲客

大掾權大掾六位下品乃者 但し女掾權少掾上

大目七位乃者 但し 權大目おかし

畿内 五箇國

山城 大和 河内 和泉 攝津

東海道 十五箇國

伊賀 伊勢 志摩 尾張 美濃

遠江 駿河 伊豆 甲斐 相模

武藏 安房 上総 下総 常陸

太守親王なり 乃守なり 諸人なり

東山道 八箇國

近江 美濃 飛騨 信濃 上野

下野 陸奥 出羽

陰奥出羽按察使府

按察使 陰奥出羽と管領と職也

陰奥出羽と國ありてありていふ國と評定成

收るる事あり

鎮守府 大將軍 副將軍

府國ありていふ國事とありていふ

秋田城 今 出羽乃今ありて人見とれ

北陸道 七箇國

若校 越前 加賀 能登 越中

越後 佐渡

山陰道 八箇國

丹波 丹後 但馬 周幡 伯耆

出雲 石見 隱岐

山陽道 八箇國

播磨 美作 備前 備中 佐後

安藝 周防 長門

南海道 六箇國

紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊豫

土佐

西海道 十一箇國

大宰府

は府より醫監の道とおもふ也

帥親王受母の位より長下ハ位也

権帥大納言下是より位より前左乃前大納言

前中納言より大宰権帥に位より六帥大納言

と云

大貳参議教三位位より非参議四位又位より権

帥の位より大貳位より大貳位より権帥の位より

いふれありといふもあは流例あり

大貳 権大貳 五位位より

大監

女監

六位侍位より

大典

女典

府中より縁のものをいふなり

いふ博士筆師大唐通事より上古より位より

大宰府より程遠よりより文章小通事より

博士より副あり又筆師醫師よりいふ官より

よりいふなり

能前^上能後^上肥分^上肥後^大豊前^上

豊後^上日向^中大隅^下薩摩^下これより九國といふ

豊後^下日向^下大隅^下薩摩^下これより九國といふ

諸衛

左右近衛府

近衛府といふ君と近く侍を満つた氏男
乃職之左右衛門左右兵衛といふ外衛といふ
内衛といふ官職なりと發回といふ職は門内と
發回といふ一宿衛と宿直といふ夜直といふ

大将

府乃かゝるもの近衛大将は執柄之家乃令付ふ
執柄は職也大臣といふりも大納言乃兼官也
中納言といふは侍をさへりも常侍も家友也

中少将

将監

近衛乃いけりハ云達殿上人四位五位といふ
侍は禁中發回といふ職也いれ兵杖と常侍と

五位六位といふ副尉といふも近衛府に將
監乃事なり

将曹

将曹といふも近衛府に

府生といふも近衛府に

番長といふも近衛府に大将乃いれ候といふも

少人番長といふも近衛府に

外衛

門乃いれ發回といふ也

左右近衛府

助 權助

六位 下れぬ侍

允 源口乃侍 下れぬ侍

兵庫寮

兵 兵と云ふ侍 下れぬ侍

頭 四位 五位 下れぬ侍 武 兵と云ふ侍 下れぬ侍

助 權助 下れぬ侍 六位 侍

允 大少 六位 侍

分民官

将 帥 乃 職 下れぬ侍 兵 兵と云ふ侍 下れぬ侍

帥 下れぬ侍

鎮守府

將軍 隆興出羽と管領と云ふ也

副將軍 將軍の下に侍と云ふ侍

軍監 軍曹 武勇と云ふ侍

征夷使

大將軍 首の三位 四位 武勇 小侍

戎 侍 四 夷と云ふ侍 馬廻と云ふ侍

運 兵 征討 一 羽と守護乃職也 四

海と云ふ侍 戎 侍 右大將 朝 以後

執 下

親王。

皇子と親王とより親王宣下せし親王は
四品と有品あり五品はわきと五品といふ
無品といふ

令條五品ト云名目ナシ

公卿

攝政關白と云と云より敷位より位と
と公卿といふあり

諸王

親王宣下と云と云より親王といふ
諸臣

四位下初位そわ以上と諸臣と

先一人いひひ一不ふも
枡家近衛殿 九條殿 二條殿 一條殿 鷹司殿
とあり

公達

三家乃花院あり中院土所門流といふ雅定大臣
久我と今八云久我乃庶子中院あり
中院九條右大臣即卿云乃十男云季長子孫あり
轉法輪三条西園寺德大寺菊亭花山院
東播磨白乃息花山院とありす いか大僧乃家忠大臣
家忠大臣乃子孫也

大納言乃
子孫あり 三家と清光と云

諸大夫

六條修理左衛門尉わいし 藤原四條隆房大納言
子孫名家とありと云大藏乃為房藤原勸
修寺葉室子孫泰親有國子孫大福寺日野
一門中納言親宗子孫平氏等也紀傳菅氏の
一流明經清原一流源平乃家後流官勢
和記より云々 諸大夫乃一列と云

侍

一たひ云々の家より侍仕んりといふあり一五位

六位内より弘安乃比事礼の礼と定る時
五位六位下水面より諸司口人等より
乞や

百官和秘抄一家相傳秘中秘也拭法眼
深光筆奉進献 関白殿下御前者也

于時天正十三年十一月節大吉日

正三位清原朝臣枝賢入道

雲庵道白上

